

季刊

CST News Report

2010.6.30

No.1
(創刊号)

平成 22 年度 理数系教員養成拠点構築事業 (福井大学) since 2009.8.10

CST 事業の目指すところと教員養成について

福井大学 CST 事業実施担当者
教育地域科学部 教授
中田 隆二

今春、平成 22 年度の CST 養成事業の新規募集が行われましたが、その際、複数の大学・教委関係者から、本学の CST 事業について問い合わせを受けました。全国的に CST 事業が広まろうとする中、本学の CST 事業への注目度が高まっていることの現れかも知れません。

CST 事業もその一つですが、「次世代を担う若者への理数教育の充実」というテーマを掲げ、文部科学省は様々な施策を進めています。我が国が科学技術立国を目指すと同時に、持続可能な社会を実現するためには、全ての市民にとって科学技術リテラシーを身につけることが求められているわけです。

日本学術会議も、平成 19 年に、「これからの教師の科学的教養と教員養成の在り方について」と題した要望を国に提出し、その中で教員養成制度も含めさまざまな提言を行っていますが、そこには、CST 事業にも共通する考え方もいくつか見られます。一方で、教員養成や免許制度等の制度設計については中教審での議論も始まろうとしています。

このような状況の下、CST 事業を、大学が地域の教育関係者と協働して進める中で、教師の科学的知識・技能・指導力の向上を図るための支援を行うとともに、教員養成における課題についても共に考えていくことが必要かと思えます。

二年目に入った福井の CST 事業をより広く知ってもらうために NewsReport を発刊することにいたしました。四半期毎の事業案内や報告が主になるかと思いますが、既に、立ち上げているホームページ共々、本事業関係者間での情報共有や意見交換の場として役立つことを願っております。

※CST：コア・サイエンス・ティーチャーの略称。

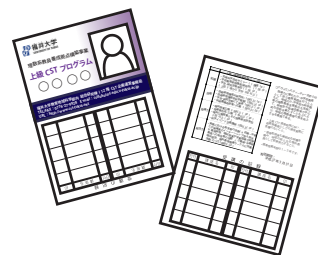
— 平成 21 年 8 月 10 日から CST 養成開始までの取り組み —

平成 21 年 8 月 10 日付で、(独)科学技術振興機構と福井大学、福井県教育委員会の間で実施合意書を締結し、CST 養成活動開始に向けた体制づくりが始まりました。福井大学文京キャンパス総合研究棟 I の 12 階に CST 企画運営事務局を設置し、福井大および県教委で構成される「CST 企画運営委員会」、実施機関と県内他大学・科学館等の連携機関で構成される「CST 養成連携協議会」および本学 CST 養成事業の評価を担う「CST 評価委員会」等を設置し、年に各数回の委員会を開いて CST 養成の体制を整備するとともに、資格取得のための養成プログラムの開発を進めてきました。

そして、大学の専門講座と連携機関の各種講座を CST 受講者が受講し、講座受講によるポイント積算で CST 資格取得を目指す仕組みを作り上げました。

2 月には福井大学 CST ホームページを公開しました。本事業の広報を推進する他、受講者の講座申込や履修状況管理を行うシステムも備えています。

CST 受講者の募集活動は平成 22 年の年明けとともに始まり、学部生・院生や現職教員からの応募が多数ありました。書類審査の後面接を行い、CST プログラム受講者として、初級 8 名、中級 3 名、上級 6 名を決定しました。既に講座の受講や中級 CST 受講者による長期インターンシップも始まっています。8 ヶ月余りの準備期間を経て、福井大学 CST 養成活動、いよいよスタートします。



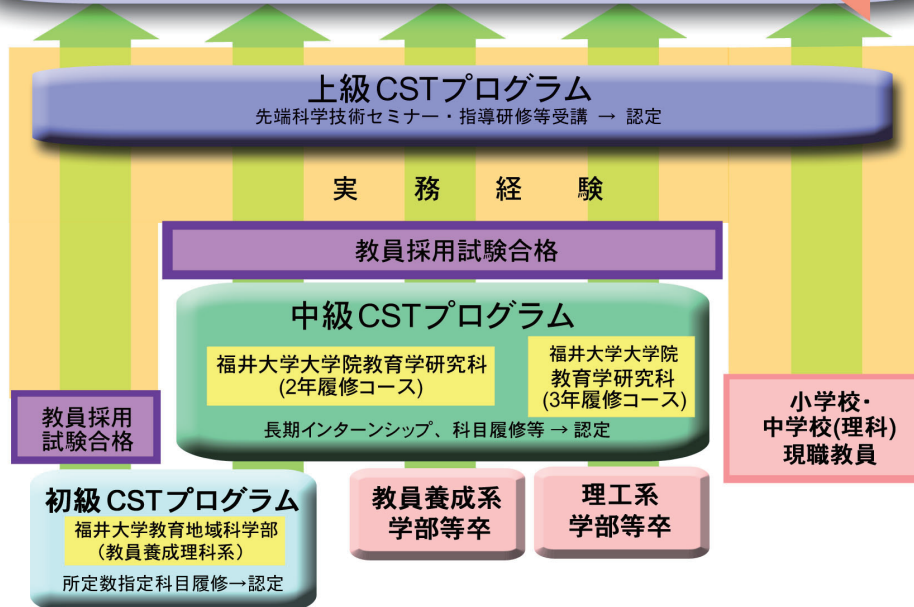
Line Up

- (1) CST 事業の目指すところと教員養成について
- (2) 平成 21 年 8 月 10 日から CST 養成開始までの取り組み
- (3) **Pick Up!**: CST 養成プログラムの概要
- (4) プログラム受講者だより
- (5) 平成 22 年度第 2 四半期 (7~9 月) のお知らせ

Pick Up! CST 養成プログラムの概要

CSTとして地域の理科教育を推進
 先端科学の知識に基づく周囲の教師への理科教育指導、
 教員研修の講師としての指導、教材・教具の開発…など

CST支援拠点
 (大学+県教委)
 による継続的支援



- 実施機関**
 福井大学
- 共同実施機関**
 福井県教育委員会 (福井県教育研究所) (嶺南教育事務所)
- 連携機関**
 福井県立大学
 福井工業大学
 福井市教育委員会
 美浜町教育委員会
 福井県立恐竜博物館
 福井市自然史博物館
 福井県児童科学館
- 協力機関**
 福井県大学・私学振興課 (大学連携リーグ)

CST 養成プログラムでは、「基礎知識」「知識」「技能」「指導力」「総合力」の観点から評価します。

「基礎知識」：物理・化学・生物・地学各分野に関する専門的基礎学力の形成と確認 (初級・中級 CST 対象)

「知識」：先端科学技術セミナー、学校教育に関する知識、福井大学の指定科目 等

「技能」：福井大学・県教育研究所等・科学館等の提供する技能研修 等

「指導力」：公開授業参観、福井大学・県教育研究所等・科学館等での TA 活動 等

「総合力」：小中学校や科学館等でのインターンシップ (初級・中級 CST 対象)、実務における助言等の活動 (上級 CST 対象)
 各観点についてポイント換算し、一定期間内に指定ポイント数以上取得すると CST プログラム修了です。ポイントは積算制で、各講座には自主的に参加していただきます。受講者のライフスタイルに合わせた「自己啓発型」CST 養成・支援システムです。

プログラム受講者だより

4月26日から、CST 養成プログラムを開始しました。
 連携機関の講座受講第1号、福井市自然史博物館の講座
 「土星と春の星座」からの報告です。

講師のひとこと

当日の夜は大気が澄んでおり、天体観望会日和でした。天文台内の20センチ屈折望遠鏡では、土星本体とその環とともに複数の衛星を観察できました。また、春を代表するおおくま座が北東の空に、冬の大三角をつくる3星が南の空によく見えました。

受講者のひとこと

子どもたちと一緒に夜空を見上げながら星座を探しました。小学校の頃には教えていただく側として参加しましたが、今回は教える側として参加しました。天体のおもしろさを伝える側としての喜びを感じました。



平成22年度第2四半期(7~9月)のお知らせ

7/20~8/17 上級CST第2期応募期間
 8/28(土) 上級CST応募者面接

講座情報：

- 7月下旬~9月上旬 (日曜を除く)
 「恐竜化石発掘作業参加」(恐竜博物館)
- 7/16 魚ロボット開発物語 (大学連携リーグ・福井工大)
- 7/28 校内研修の活性化 (県教育研究所)
- 8/3 魅力ある学級づくり、授業づくり (嶺南教育事務所)
- 8/31, 9/7, 9/14 RNAの秘密 (県立大学)
- 9/22 中秋の名月 (児童科学館)

その他の情報は、ホームページをご覧ください。

CST News Report No.1(創刊号)

2010.6.30 発行

編集・発行・印刷

福井大学 CST 企画運営事務局

TEL : 0776-27-9928

mail : cstfukui@f-edu.u-fukui.ac.jp

URL : http://www.cst-fukui.net

本事業は、(独)科学技術振興機構の支援のもと実施しています。